

活動報告

【太田国土交通大臣が来静しました】



本年6月に富士山が世界文化遺産として登録されました。構成資産として三保松原も逆転登録となりました。

これに伴い三保海岸の保全・整備、観光客の受け入れ態勢など様々な課題が出てきました。国においても景観を損ねるといわれる消波ブロックの対応等が必要となり 7月31日に太田国土交通大臣が視察に来られました。

【農業委員会より要望を受けました】

9/27静岡市農業委員会より、平成26年度の静岡市農業施策に関する建議書を受け、意見交換をさせて頂きました。

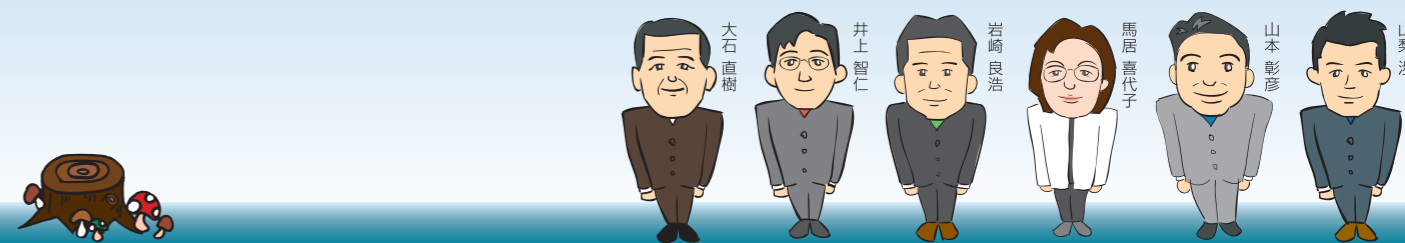
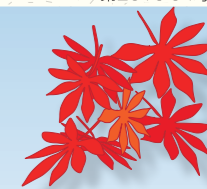
農業を取り巻く環境は、高齢化、後継者不足に加え、様々な外的要因の影響を受けております。

静岡市の農業が社会の変化に対応し、発展できるよう振興施策の充実等図って参りたいと思います。



KOMEITO SHIZUOKA-CITY

公明党静岡市議会だより



ごあいさつ

日頃より公明党静岡市議会へのご理解ご協力誠にありがとうございます。

9月12日～10月9日までの28日間、平成25年9月定例会が開催されました。

ここでは平成24年度の決算及び、三保松原の保全と来訪者対策や小規模保育施設整備費などを含む補正予算、また、職員給与及び議員歳費の削減などの議案が審議され、いずれも賛成多数で可決されました。

そして公明党静岡市議会が中心となり発案した「鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書」も全会一致で可決することとなりました。

また、本議会より議会改革の一環としてわかりやすい議会を目的とした一問一答方式の議会質問の導入がはじまりました。

これからも、皆様方のご意見を伺いながら、市民目線による政策提言等の活動を行ってまいりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



10月9日、9月定例会終了後、市長をはじめとする執行部幹部が公明党議員団室へ挨拶にきました。岩崎議員の右側より、小長谷 重之 副市長（9月議会で議決され新たに就任されました）、田辺 信宏 市長、河野 太郎 財政局長、山本 克也 副市長



12月1日は地域防災の日です。共助確立のため是非参加してください

東南海地震(1944/12/7)に因み、昭和61年の静岡県防災会議で定められ、12月の第1日曜日を中心に各地域で地域防災訓練を実施されます。



静岡市では地震関連情報、気象関連情報等を携帯電話等へお知らせする「静岡市防災メール」の配信サービスを実施しています。ぜひ、ご利用ください。



【登録用QRコード】

あなたのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

●公明党控室  
〒420-8602 葵区追手町5-1  
TEL 054-254-2111内線 (4533)  
直通TEL・FAX 054-254-2769  
◆ホームページ  
www.shizuoka-komei.jp  
◆メールアドレス  
komeitoshizuoka@ka.tnc.ne.jp

●岩崎 良浩  
〒421-0115 駿河区みずほ三丁目8-3  
TEL・FAX 054-258-4136  
携帯電話/090-3957-0002

●井上 智仁  
〒422-8072 駿河区小黒2丁目10-40-304  
TEL・FAX 054-287-2031  
携帯電話/090-4239-7223

●馬居 喜代子  
〒420-0067 葵区幸町2番地の19  
TEL 054-221-0386  
FAX 054-221-0387  
携帯電話/090-5032-0346

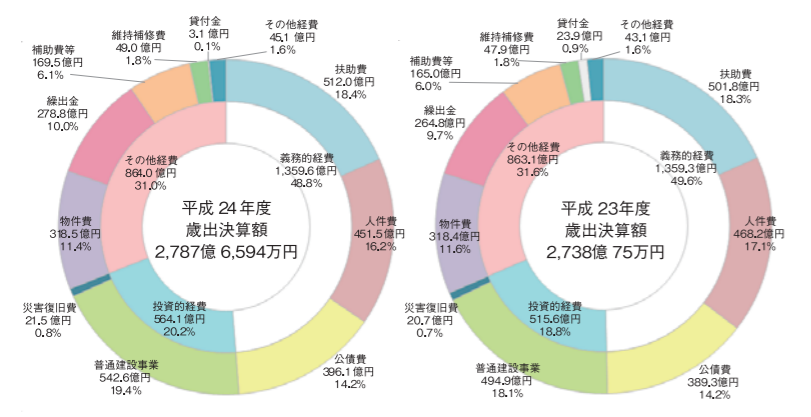
●大石 直樹  
〒424-0928 清水区緑が丘町21-9  
TEL・FAX 054-335-7012  
携帯電話/090-1725-6633

●山本 彰彦  
〒420-0876 葵区平和2丁目24-14  
TEL・FAX 054-271-2244  
携帯電話/090-1561-7775

●山梨 涉  
〒424-0204 清水区興津中町1356-25  
TEL・FAX 054-368-5540  
携帯電話/090-3527-1272

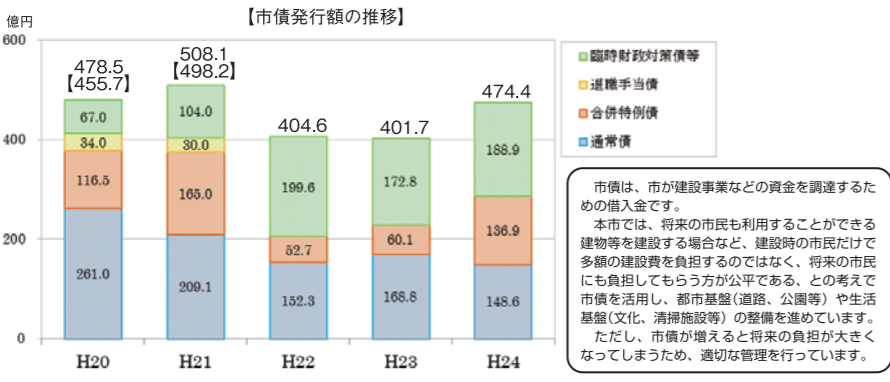
## ■ 決算のポイント(一般会計)

平成24年度一般会計の決算額は、  
 歳入総額が **2,867億1,944万円(前年度比1.6%増)**  
 歳出総額が **2,787億6,594万円(同1.8%増)** となりました。  
 また、歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた  
 実質収支額は **40億3,072万円(同0.9%増)** となりました。



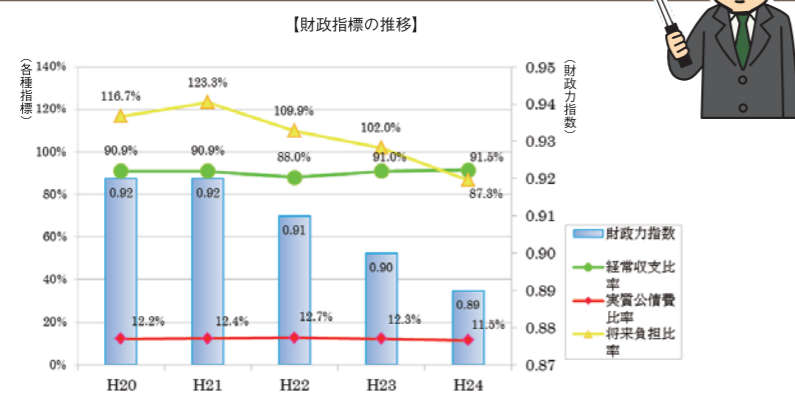
## ■ 市債の状況

市債発行額は、474億3,972万円  
 前年度と比べ、**72億7,266万円(18.1%)の増額** となりました。



市債は、市が建設事業などの資金を調達するための借入金です。  
 本市では、将来の市民も利用することができる建物等を建設する場合など、建設時の市民だけでなく、将来の市民にも負担してもらおうが公平である、との考えで市債を活用し、都市基盤(道路、公園等)や生活基盤(文化、清掃施設等)の整備を進めています。ただし、市債が増えると将来の負担が大きくなってしまいますため、適切な管理を行っています。

## ■ 財政指標の状況



財政力指数 1に近く、又は1を超えるほど財源に余裕がある。  
 経常収支比率 数値が低いほど財政構造に弾力性がある。  
 実質公債費比率 早期健全化基準: 16.25% 財政再生基準: 35.00%  
 将来負担比率 早期健全化基準: 400.00%

## 本会議総括質問では山本彰彦、大石直樹、山梨渉の3名が質問を行いました。

### 山本彰彦



- ①合併後について
- ②人口減少社会について、今定例会から導入された一問一答方式で、質問致しました。

新静岡市誕生から10年目の節目を迎え、平成27年度からスタートする第三次総合計画の策定に向け、市長の基本的な考え方と今後の本市の方向性について質問しました。静岡市が直面する人口減少の問題に対し、「人口減少対策プロジェクト」の設置を要望させていただきました。

### 大石直樹



- ①防災行政について
- ②骨髄バンク事業について
- ③献血の推進について

防災行政については、情報の収集・共有に関しての、ソフト・ハード両面における災害対策本部の機能強化を訴えました。大型画面の導入や、情報の電子化などを検討していく旨の答弁がありました。

### 山梨渉



- ①ニート支援策について
- ②ひきこもり支援策について
- ③未就学時の早期発達支援について

ニート支援策については、勤労福祉センターなどの公共施設を就労体験場所として具体的に検討する旨の答弁がありました。また、ひきこもり地域支援センターの設置や、幼児言語教室の待機児童対策など訴えました。

※一問一答方式 これまでは一回の質問で全ての質問を行う、一括質問一括答弁方式で行ってききましたが、議会改革の一環としてわかりやすい議会を目的にH25年9月議会より、試行導入が開始されました。

### ●総務委員会 【岩崎 良浩】



総務局、企画局、財政局等を所管します。  
 H24年度は、公明党が主張してきた防災・減災に係る予算措置が大きく反映され、津波避難タワーの建設費などが計上されました。



### ●生活文化・環境委員会 【山本 彰彦】



生活文化局、環境局を所管します。  
 H24年度は長年公明党が力をいれてきた日本平動物園のリニューアルがほぼ完成し、本市の観光の拠点としての機能が備わりました。



### ●厚生委員会 【井上 智仁】



保健福祉局、子ども未来局、病院局等を所管します。  
 H24年度は、公明党が訴え続けてきた、子ども医療費の助成(ワンコイン化)が開始されました。



### ●都市・建設委員会 【馬居 喜代子】



都市局、建設局を所管します。  
 国道1号線静岡バイパスの4車線化工事の目標時期について、鳥坂-千代田上土、羽鳥-牧ヶ谷間は平成26年度内の完工予定との説明がありました。



### ●経済・消防委員会 【大石 直樹】



経済局、消防局を所管します。  
 H24年度は、公明党が主張してきた、若者と中小企業をインターネットで結ぶ、「しずまっち」事業などが展開されました。



### ●上下水道・教育委員会 【山梨 渉】



上下水道局、教育委員会を所管します。  
 小学校6年における学力調査の結果が全国平均を大きく下回っていることから、現在行われている学力アップサポート事業の拡充をうったえました。

